

北海道 かわばたの風

5月号

自粛生活について

管理者 太田 さとみ

年明けから、北海道も新型コロナウイルス感染症の事で毎日が明け暮れております。ゴールデンウィークが過ぎても未だに緊急事態宣言が解除されず、すべての道民が自粛生活を余儀なくされています。

いつまでこの状況が続くか不明のまま、毎日感染者の数に一喜一憂しながらもいつしか慣れてしまっている自分がいます。マスクに窮屈さを感じ、面倒になったり自分だけは大丈夫と何の根拠もなく自信だけがあたりと、長引く新型コロナウイルス対策への不安、これから先どのような変化の中生活するのかが見当もつかず、気持ちを落ち着かせなくしています。

私がこの仕事についていた時、上司に「愚鈍愚直に仕事をするように」と、教えををう機会がありました。その言葉は忘れることなく、頭の片隅にはあります。しかし、なかなか実践できず、意味すらも自分勝手に都合よく解釈してしまったり、言葉と行動がかみ合わなかったりという方が多く、今回の自粛生活において、この愚鈍愚直という言葉の意味と、自粛生活が私の中で妙に絡み合っております。

出口が見えない中、収束されるであろう未来に向けて、今自分が出来ることをひたすらにやり続けることが出口に繋がる事と信じ、自粛生活を続けています。

6月の予定

- 5日 工賃支給日
 - 15日 避難訓練
 - 19日 支援会議
 - 25日 工賃会議
- 健康診断日を調整中です

社会体験活動は自粛中です

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う作業への影響

緊急事態宣言における外出自粛の余波は、作業の減少にも繋がっています。毎年五月から施設外作業を受けている苗直売店や、メロン農園に現在のところ行けていません。▼町から委託を受けている川端駅前トイレ清掃は例年通りのスタートをしております。昨年の外壁の塗装は地域の方々にも好評を得ており、国道274号沿いにある為利用される方々も多く、その方々からのメッセージに元気をもらって頑張っています。

職業指導員 鈴木朋美

風だより

世界中が新型コロナウイルス感染症の渦の中にあります。時間が流れる中、ゴールデンウィークが過ぎ、事業所周辺の水田に水が張られ、田植えの準備が着々と進められています。▼弥生時代から稲作が始まり、毎年何が起きてても、時間の流れの中で人は今、やらねばならないことを粛々と進めています。▼北海道の大地に水を張り、何処までも広がる田園風景には清々しいほどに目を見張る何かがあり、薫風の中暫し時間を忘れ見惚れてしまいます。

カカス ぼたけ しどうかいし
KAKA'S 畑、始動開始！！



これはトウモロコシの種です。ムシに食べられないように消毒をしているので赤くなっています。

5月のある日。
 近所の山本さんご夫婦にKAKA'Sの畑を耕していただき、みんなで苗を植え種をまきました。今年はおぼちゃとトウモロコシに挑戦です。
 今年もおいしいものがたくさんできるといいな～!(^^)!



げんきむら せいそう はじ
元気村トイレ清掃が始まりました。

今年も由仁町から元気村のトイレ清掃の依頼を受けました。今年はおぼちゃとトウモロコシに挑戦です。今年もたくさんの方に気持ちよく使っていただけるようがんばります！！

